

国立国語研究所学術情報リポジトリ

言語文化圏と価値観に関する空間情報科学的研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-12-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 川西, 孝男 メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/2000392

言語文化圏と価値観に関する空間情報科学的研究

川西 孝男

国立国語研究所

drtko2024@gmail.com

https://researchmap.jp/read0149355

- 1 目的：**21 世紀に入り、人類は AI などスーパーコンピュータによる高度情報化時代を迎える一方、世界規模の感染症、人口増加や地球温暖化に伴う災害の発生など多くの問題を抱えている。日本もこの世界の影響を受けつつ、少子高齢化の進行や地震や台風などの自然災害の多発化が危惧されている。このような中、人類の価値観はいかに推移しているのかについてデータ収集分析を行う。世界価値観調査 WVS (World Values Survey, Austria Wien) のデータを用い、その動態を追い、さらに言語文化圏の視点、特にアジア地域の漢字文化圏の価値観を考察する。価値観の多様化に加え、世界各国の動静が様々に報じられる今日の空間情報の中に生きる我々に、これら学術データが示す人類の方向性や未来像を見てゆきたい。
- 2 方法：**WVS が 1980 年代から 2020 年代に 7 期にわたってサンプル収集した世界各国のデータ及び報告資料を用いる。当初の参加 10 カ国から現在の 40~60 カ国 (調査参加国人口の世界に占める割合は 60%以上、図 1) の価値観の推移を追い、次に漢字文化圏について、現在も主に漢字を使用あるいは公用語とする国、もしくは近年まで使用し、漢字文化が色濃く残る国の分布を示し (図 2)、その価値観 (幸福度) をグラフ化した (図 3)。
- 3 結果：**漢字文化圏に属するのは日本や中国などであり、特に中国は広大な国土と共に近年経済発展が著しく、人口も世界の首位を占めるなど躍進した。一方、日本は前述の少子高齢化や長期デフレによる経済発展の鈍化、前述の災害の多発など両国は対象的とも言える。この漢字文化圏の特性や方向性について世界価値観データは空間情報科学的にも示唆に富む結果を現している。



図 1：WVS による 7 回のデータ集計推移 (WVS 資料を基に筆者作成)

4 使用したデータ：

Haerpfer, C., Inglehart, R., Moreno, A., Welzel, C.,

Kizilova, K., Diez-Medrano J., M. Lagos, P. Norris, E. Ponarin & B. Puranen (eds.). 2022. World Values Survey: Round Seven – Country-Pooled Datafile Version 6.0. Madrid, Spain & Vienna, Austria: JD Systems Institute & WWSA Secretariat. WV1_Results World Values Survey 1 (1981-1984) Technical Record Study#WVS-1981, https://www.worldvaluesurvey.org/WVS_Documentation/WV1.jsp, WV2-7 Results

国立国語研究所「中国語・韓国語母語の日本語学習者縦断発話コーパス」「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」

- 5 謝辞：**東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJ データアーカイブから「世界価値観調査 Wave1-7, 1981-2021」(電通総研,山崎氏)の個票データの提供を受けた。また本研究は、国立国語研究所における共同利用型共同研究 (B)の共同研究プロジェクト「日本における標準語と方言の歴史地理学的研究」の成果を用いている。

6 参考文献：

電通総研・池田謙一編 (2022)『日本人の考え方 世界の人の考え方—第 7 回世界価値観調査から見えるもの—』,勁草書房。

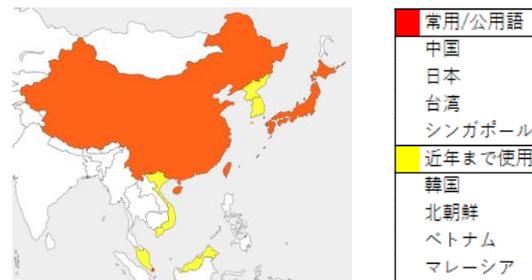


図 2：現在の漢字文化圏 (筆者作成)

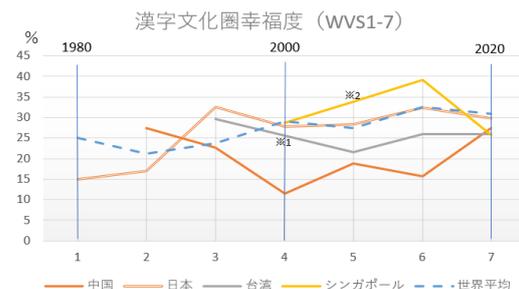


図 3：漢字文化圏の幸福度の推移 (筆者作成、※1,2 はデータ無のため前後平均値で補正)